

自己点検・自己評価

(令和7年1月2月公開)

専門学校メトロ IT ビジネスカレッジ
日本語学科

(参考：日本語教育振興協会「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（2025年版）」)

自己点検・自己評価

年に1度（12月）に校長および日本語科常勤講師・支援員による自己評価を行う
結果は1月から3月までの期間に翌年度のカリキュラムおよび学校運営計画に反映させる

評価基準

A：「達成している」若しくは「適合している」項目

B：「一部未達成」であるが年度末（3月）を目途に達成あるいは適合が確実な項目

C：「未達成」あるいは「適合していない」項目

1. 教育理念・目標等		評価
①	教育の理念・目標が明確に定められている	A
②	教育の理念・目標の関係が適切である	A
③	教育の理念・目標が教職員及び学生に周知されている	A
④	教育理念と教育目標に基づく教育が行われている	A
「質の高い日本語教育を提供することにより、国際理解・国際協調の精神、推進に寄与し、日本及び国際社会における職業教育を推進し、留学生の進学及び適切な就労を促進して、我が国における日本語教育機関の質的水準の向上に資すること」という理念のもと、「留学生の進学及び就労を支援することにより、我が国との架け橋となって活躍できる人材育成を行うこと」を目標として、関係各部署および海外で運営する日本語教育機関とも連携した取り組みを行っている。 昨年度の卒業生は希望する分野での就職をしてそれが活躍しており、前述の内容を教職員および学生が共有し精力的な取り組みを行うことができている。		

2. 学校運営		評価
①	日本語教育機関の告示基準に適合している	B
②	運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている	A
③	職務分掌と責任が明確にされている	A
④	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である	A
⑤	運営にあたり法令を遵守している	A
⑥	個人情報に關し、その保護のための対策が取られている	A
⑦	教職員のコンプライアンス意識を高めるための方策が取られている	A
コロナの影響による休校（2024年3月まで）明けであり、初年度の学生数が少なかったため、最大クラス数に対する講師数が不足していたが、新規雇用のみではなく、人材の育成にも取り組み、十分な講師を確保できる状況になっている。また、運営母体によるプライバシーマークの取得も行っており、日本語学科においても個人情報等の法令を遵守した取り組み・社内教育も行われている。		

3. 情報公開		評価
①	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している	A
②	募集及び納付金に関する情報を公開している	A
③	入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている	A
④	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている	A
⑤	公開されている情報は常に最新のものに更新されている	A
情報の公開媒体であるホームページの更新が遅れたこともあり、一部情報が最新の情報となっていた点があったが、現在は改善済である。		

4. 入学者の募集と選考		評価
①	年間募集計画を策定し、計画的な学生募集を行っている	A
②	入学希望者に対して、教育課程の内容等についての情報提供が入学希望者やその関係者に理解できる言語で適切に行われている	A
③	適切な方法で入学者の募集を行っている	A
④	海外の募集代理人等に最新かつ正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している	A
⑤	適正かつ公平な基準に基づき入学者の選考が行われている	A
海外の募集活動拠点とは密接な連携を取り、入学希望者に対しては最新かつ詳細な情報提供を行うことができる環境を構築している。本年度は4月および10月の入学式には現地教育機関スタッフも出席し、募集する学生像の共有を図るとともに、学校および宿舎についても実際に確認した。		

5. 教育活動		評価
①	教育目標に合致した教育活動の計画を作成している	A
②	教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られている	A
③	授業記録及び出席状況について、正確に記録されている	A
④	学生の理解度の確認を適切に行うことで、補講などの適切な措置が取られている	A
⑤	授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている	A
半期に一度、学生全員に対してアンケート形式による学校生活および授業内容に対する評価を行っており、学生の理解度および学習に対する意識を確認する機会を取り入れ、指導内容の見直しを行っている。評価項目は12月の自己点検の際に見直しを行っている。		

6. 教職員育成		評価
①	教育目標達成に必要な教職員の知識、能力及び資質を明確化されている	A
②	教育の質向上のための取り組みを適切に行っている	A
③	教職員の評価の基準が明確化されている	A
④	教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている	A

外部教育機関と連携し、オンラインで日本語教育に関する講座を受講できる環境を準備しており、教授法のみではなく、教材の提供も受けて授業の質の向上を図っている。年度末には、教職員を対象とした自己評価も行っており、前述の学生評価に加え、自身での振り返りの機会も設けている。

7. 学生支援		評価
①	日本社会を理解、一構成員として活動するための取組を適切に行っている	A
②	進路指導を適切に行っている	A
③	安全な留学生活を送るための適切な取り組みをしている	A
④	入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている	A
⑤	保護者及び学生紹介機関との連携が適切になされている	A
⑥	母語または十分に意思疎通ができる言語によるサポートがなされている	A

年に2回、全学生を対象とした個人面談を実施し、内容は日本語科内で共有して課題を抱える学生に対するフォローを実施している。また、留学生の生活支援の専任者による個別のフォローを行っており、在留手続きや疾病時の通院支援も個々に寄り添って行っている。また、母語（英語・ミャンマー語）ができるスタッフも社内に在籍しており、母語における支援や保護者との情報交換も行うことができる環境にしている。

8. 施設・設備		評価
①	施設・設備が語学教育上の必要性に十分対応できるように整備されている	A
②	授業時間外に自習できる部屋が確保されている	A
③	授業時間外の補習・個別面談等に使用できる部屋が確保されている	A
④	教育内容及び学生数に応じた図書が整備され、常時利用可能である	B
⑤	教育及び職員の執務に必要なスペースが確保されている	A
⑥	学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている	A

施設設備に関しては定期的に外部業者による安全点検を受け、危機の経年劣化等については隨時更新している。図書コーナーには小説等の一般書や各種専門書を設置しており、学生が自由に利用することができるようになっているが、「やさしい日本語」で書いている書籍が少ない為、年度内に追加購入する書籍を準備している。

9. 地域貢献・社会貢献		評価
①	地域貢献、社会貢献となる活動を行っている	A
②	地域との共生・共存のために、安全、環境等が維持・整備されている	A
③	地域及び社会の状況や特性を理解できるよう、学生に周知されている	A
④	地域住民や関係機関等に留学生への理解が得られるよう働きかけが行われている	A
学生寮を利用する際のごみの分別や騒音等、地域住民と共に存する為の指導を入国後に行うと共に、学生寮の大掃除の際には、周辺地域のごみ拾いも行うようにし、地域へ貢献する気持ちの醸成にも努めている。		

10. 財務		評価
①	日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である	A
②	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっている	A
③	財務について会計監査が適正に行われている	A
④	海外の募集代理人等に支払う仲介手数料が適正である	A